





その他内容

- ・ACP。(2件)
- ・がんに対してのDr等の方向性、考え方に感銘を受けた。
- ・おおよその金額の話。

「講演・パネルディスカッションで印象深かった内容」

- ・施設での看取りは協力医の考え方にとっても左右されるので、施設を利用される利用者さんを主体とした施設生活を終の棲家と出来ること、そのためにも看取りは大切な位置をしめていると思います。病院で忙しく、場合によっては検死、警察の介入はとてつらい。本人にとっても家族にとっても施設にとっても。
- ・ACPIについての意味や内容が良く理解できました。
- ・がん拠点HPが遠賀、中間地区にない為。がんケアセンターを開設となった事。
- ・ACP、福岡県のがん医療の問題点。がん拠点病院が中間付近では少ない。
- ・身近な病院にこのような「がんケアセンター」が出来て、とても安心です。誰でもなりうるがんのことが知れました。ありがとうございました。末廣先生の話は、いつもとても励まされます。本当に尊い仕事だと思います。
- ・今回の講演で新しく学べた事、再認識する事ができた。訪問看護の費用、介護保険の仕組み、疼痛コントロールについて。在宅で最後を過ごす方のあり方について。看取りも。
- ・訪問診療利用者の具体例。
- ・今後、がん患者が増えていくこと。医療、介護とチームで連携していくことの重要性。
- ・がんになっても早期発見、治療で治る可能性も高く、怖くない病気になってきているので、そのために検診が重要であること、検診に行こうと思いました。自分が最後をどう迎えたいか、ACPを作成しておくこと、それを実現するための顔がみえるチーム作りがあらかじめわかると、安心して取り組むことができると思う。
- ・ACP。
- ・末廣先生のお話し、もう少し長くお聞きしたかったです。
- ・ケアセンターの役割がきちんと理解でき、利用者の方にも紹介できそう。ケアマネが在宅医療の知識を増やす。末廣先生にも良くしていただいています。橋本様には色々教えて頂き助けられました。ありがとうございました。
- ・がんケアセンターがもっと住民に知られる様になったらいいですね。在宅医療という選択がある事を知ってもらおう件。
- ・ご準備大変だったと存じます。大変お忙しい中、とても関心の高い内容で詳しくお話頂き、ありがとうございました。
- ・がんケアセンターの存在を知れた事。
- ・ACPの必要性。
- ・がん検診の必要性を理解できました。在宅でも最期の時間を思うように過ごせると思います。
- ・藤先生の講演が大変わかりやすく、多くの人に知ってほしいと思いました。訪問診療も家族本人の希望にどう生きるのか、とても学びました。
- ・お金がかかりますね。
- ・演者、パネリストの方々のACPIについての考えを聞くことができ、よかったです。
- ・おかがき病院での訪問診療の内容。
- ・具体的な内容を知り、安心感を持てた。迷いなく相談出来る場があるのだと改めて感じた。ACPIについて深く考えさせられた。

「講演・パネルディスカッションで印象深かった内容」

- ・勉強になりました。
 - ・早期に発見することの重要性と元気うちからのACPを家族ですることが大切と理解できました。
 - ・講演を聞いて、医療との連携方法やCMとして関わっていく上で、必要な知識を身につけて、ご利用者さまの人生に寄り添い関わっていきたくと再認識させて頂きました。とても参考になる事ばかりで勉強になりました。
- ありがとうございました。
- ・末廣先生のがん末期の患者さんの写真、Eピソート。
 - ・ACP。
 - ・これから緩和ケアは今までとは違って早い段階で話しをしていくことを念頭において、支援していきたいと思いました。
 - ・在宅でのがん治療、がんによる訪問看護等を身近に感じさせて頂きました。在宅での看取りの大切さを学ばせて頂きました。
 - ・緩和ケアはがんの診断を受けた時から始めるという話。
 - ・どう生きれたか。
 - ・面白かった。
 - ・在宅の選択を行うこと。
 - ・緩和ケアについて。
 - ・ACP、ICTの活用。
 - ・在宅での看取りについて。
 - ・ACPについて調べてみようと思います。

「その他感想・次回取り上げてほしいテーマ」

- ・今後は家族がいないと言われる方が増えてくると思います。そのような方のスムーズに最後を迎えるには…など、テーマをとりあげて欲しい。
- ・独居、身寄りのない方の支援。ヤングケアラー。キーパーソンが精神的な病気がある方の支援。
- ・予防医療など(糖尿病、心不全など)。
- ・日頃から尊厳死協会が出している意向表明の用紙を持ち訪問している。
- ・在宅での看取りが岡垣町では低いのに驚きました。周知していきたいと思いました。
- ・この講座を続けてほしい。
- ・私自身もがん患者で、今年1月に父を肺がんでなくしました。今後私がどう選択するべきかを考えたいと思います。良いお話をありがとうございました。
- ・内容はとても興味深いもので勉強になりましたが、時間が長いと感じました。パネルディスカッションの前の各専門職の説明がもう少しコンパクトになれば、全体の時間を短縮できるのではと思いました。
- ・介護保険との基本的なわかりやすい説明も多く、住民さんの参加がもっと多ければと思った。
- ・参考になる講演、ありがとうございました。
- ・テーマは特にありませんが、今後とも継続して開催されてください。在宅医療の啓蒙の為にも。
- ・夫が訪問看護の予定が入ったばかりで、良いタイミングでした。
- ・自分自身、前立腺ガン患者です。治療中です(投薬)。
- ・来年もまたお願いします。
- ・がん以外の他疾患についてもテーマとして取り上げてもらうとよいと思いました。
- ・はじめての参加でした(現在肺がんステージ4です)。在宅医療(経済的な問題と延命治療を望まないことから)を希望しているのですが、具体的なイメージがわからないので、本日参加してみました。少しですが先が見え、気持ちが軽くなりました。少しずつ知識をして理解していけたらと思います。
- ・具体的事例の紹介(旅行支援等)。
- ・症例を混じり合わせた講座がわかりやすく良いと思います。